

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『認知症のバイオマーカー研究 —— 認知症の病態解析と新規治療薬・バイオマーカーの開発』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月以降2023年10月末日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の病理学的解析によりアルツハイマー病、軽度認知障害の何れかに診断された方。あるいは顕著な神経疾患なし、と診断された方。

【研究期間】

研究実施許可受領後(2023年11月27日)より2024年3月31日まで

【研究代表者】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 城谷圭朗

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

ネプリライシンとはアミロイドβを分解する主要な酵素の一つで、その量や酵素活性の変化がアミロイドβの蓄積を生じる原因になる可能性が考えられます。この研究では、これまでにヒトの細胞やマウスを使った実験で得られた、ネプリライシンの発現を制御する転写因子や翻訳に関わる因子、その酵素活性を調節するリン酸化や糖鎖などの修飾が、ヒトの脳でも存在するか、またアルツハイマー病の発症にどのように関係しているかについて、死後脳サンプルを使って検証します。また、脳と腎臓を使った分析により、血液中に脳から出てくるネプリライシンを検出する方法を確立します。アルツハイマー病の発症機序を明らかにし、対象を絞った新たな薬剤を創ることや、アルツハイマー病を検出するための検査に活用できる指標(バイオマーカー)を確立することを目

指します。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料:アルツハイマー病, 軽度認知障害、対照者の脳神経組織および腎臓組織

情報等:性別、年齢、死後時間、RIN 値、疾患名、臨床診断情報、病理解析結果 等

提供する試料・情報の取得の方法

試料はNCNPブレインバンクに登録され寄託された検体、情報は試料に付随してブレインバンクに集積する情報

【共同研究機関】

長崎大学 城谷圭朗（研究代表者）

新潟大学 柿田明美

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711(代表)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinjimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)